

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞浪市立桔梗幼稚園		
実 施 期 間	平成26年10月30日（木）		
実 施 概 要	① 水辺の楽校（地域のボランティアの方が整備されている河原）でのさつま芋の苗植えと収穫		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	0	人
	地 域 関 係 者	11	人
実 施 状 況	<p>一年を通して草花遊びや飛び石渡り、虫取り、七夕の笹とりなどで“水辺の楽校”を保育で利用させていただいている。手入れをしてみえる地域のボランティアの方にお会いすることも多く、あいさつを交わしたり花の名前を教えていただいたりして日常的に関わっている。</p> <p>今年度は園内の畑が小さいことから水辺の楽校にさつま芋の畑を作ってください、春に植え方を教えていただきながら苗を植えた。「芋は寝かせてやらなあかんぞ」「これからしばらくは水をやってな」など優しい笑みを浮かべながら教えてくださいました。苗植えは子どもたちにとって初めてのことなので、「こんな葉っぱからお芋ができるの？」と不思議そうにしながらも収穫を楽しみに水やりをした。秋、芋のつるも伸びてきた。年長児が園内の畑で芋ほりをした時、「ぼくたちのお芋も大きくなったかなあ」「おじいさんと一緒に掘りたいなあ」と楽しみにした。芋ほりの当日、「一生懸命掘れよ」「大きい芋があるといいが、どうかな」と子どもたちが掘るところを見てくださった。「ここにもあるぞ」と教えてくださったり掘った芋の色の違いに気づけるように声をかけてくださったりした。「掘れたよ！」「見てみて」と嬉しそうに自分で掘った芋をおじいさんに見せていた。「ほうか、よう掘ったなあ」とほめていただいたり「こっちは焼きいもにすると甘くておいしいぞ」と種類が違うことを教えていただいたりし、和やかな雰囲気ですべてをさせてもらうことができた。掘った芋は家に持ち帰り、給食先生におやつにさせていただき、味わった。</p>		
成 果 及 び 課 題	<p>子どもたちが持ち帰った芋は、家で天ぷらや大学芋にしてもらって食べたようで、「おいしかった！」と話してくれた。包丁で切ってお母さんと一緒に料理をした子もいたようだった。自分で掘ったお芋の味は格別だったようだ。</p> <p>お家の方のなかには、散歩で水辺の楽校に行った話を保育士や子どもから聞き、降園時に子どもと遊びに行き、ザリガニを探したり、石渡りをして遊んだり活用される方もあった。また「芋を育ててくださったんですね」と地域の方が手入れをしてくださることに感謝し、地域の方の温かさや子どもたちのことを見守ってくださる眼差しに感謝された方もいた。</p> <p>ボランティアの方も子どもたちの喜ぶ様子に目を細めて、「来年もまた畑を作ってやるからな」と言ってくださった。</p>		